

高齢者等見守りに関する 協定を締結

問 介護福祉課 (☎ 82・3675 / IP ☎ 88・9088)

高齢者等おしらせ隊は、民間事業者に協力を求め官民共同のもと地域における高齢者等の異変を察知し、情報提供や通報などの連携体制により、高齢者等への安心・安全な暮らしの提供などを目的に組織されています。

1月20日に移動スーパータニオク屋と新たに協定を締結しました。

今後も民間事業者と連携し、高齢者などの方々が安心して快適に暮らせるまちづくりを目指していきます。協定締結に際し、協力事業者のマグネットシールをお渡ししました。



【移動スーパータニオク屋】

令和4年から軽トラックにより移動スーパーを始められ、桜井市をメインに活動。その後、室生方面の配達を開始。また、令和6年10月には、消防車を改造した車両に変更し、地域での犯罪の抑止力の効果が期待され、お客さんと地域を守り、寄り添い、必要とされる移動スーパーとして、日々、ご努力いただいています。



株式会社エスプールの 連携協定式を開催

問 企画課 (☎ 82・1362 / IP ☎ 88・9074)

2月6日、株式会社エスプールと宇陀市地球温暖化対策実行計画の推進について支援や助言等を目的として、「カーボンニュートラルの推進に関する連携協定」を締結しました。

この協定に基づき、CO₂排出量の算定や温暖化対策の計画策定および実行支援、脱炭素地域づくりを通じた地域の課題解決など自治体向けの支援を行うておられる株式会社エスプールと、連携・協力することで、市の脱炭素社会の実現を目指し、カーボンニュートラルの推進に取り組んでいきます。



【連携項目】

- ① 宇陀市地球温暖化対策実行計画における将来ビジョンの実現に向けた取り組みの推進と削減効果の試算に関する助言・啓発等
- ② 市民および事業者への周知・啓発等
- ③ 宇陀市の豊富な資源（森林、河川、日射等）の活用調査
- ④ 2050年までに目指す地域脱炭素の姿の推進に関する助言



市立病院と宇陀高等学校 における介護人材活躍に向けた 連携協定締結式

問 市立病院 (☎ 82・0381)

1月20日、市役所において、市立病院と宇陀高等学校における介護人材活躍に向けた連携協定の締結式が行われ、市長と宇陀高等学校中川校長が協定書に署名しました。

この協定は、市立病院と宇陀高等学校が、相互に連携・協力し、留学生等の教育や生活支援、高等学校卒業後の就職活動を支援することで、質の高い介護人材の育成および確保を図るためのもです。背景として、県内では慢性的な看護師や介護職の不足が深刻な状況があります。

なみ、患者さんとの接し方をよく学びがなばつてくれている。二元気で明るく、患者さんからの評判も抜群である」。中川校長からは、「宇陀高等学校専攻科は、県内の介護人材不足を補うことを目的の1つとしているが、県外に就労する学生も多いのが現状である。今回、市立病院と協定を締結することで、地元や県内で活躍してくれるきっかけになれば喜ばしい」とあいさつされました。

市立病院と宇陀高等学校は、これからも連携を強化し、介護人材の活躍を応援します。

市立病院でも、入院患者の高齢化、介護業務が増加する中、また、コロナ禍において人材不足の解消が急務となり、令和4年8月より、外国人留学生の方が看護助手（会計年度任用職員）として働くようになりました。現在、宇陀高等学校専攻科や専門学校に通いながら、介護福祉士を目指しています。

市長は「留学生の方は、国が違えば文化が違い、最初は様々な戸惑いや苦労があると思うが、あいさつや身だし



手話の扉

とびら

第56回

「三寒四温（さんかんしおん）」の言葉とおり日々の気温や体感の変化が大きい時期ですね。草木も芽吹き、春の訪れを感じられるようになりました。

三寒四温 **ひなまつり** **桜**

左手のひらから右手人差し指をゆっくり上げジグザグに右へ動かしながらあげていく（温度計の水銀が上下する様子）

両手3指で3月3日を示し、手前に引くことでお内裏様を表現

両手の手のひらを前後にたたき合わせながら回転し前後の手の位置を入れかえる（桜の花びらを表現）

花粉症

①つまんだ右手指先を上に向けて開き、5指を揺らして鼻に近づけ【花粉】

②右手こぶしの親指側を額に軽く一回充あてる【～症】

たんぽぽ **草（緑）**

左手人差し指から種子が飛んでいく様子を表現

両手を開いて手の甲を相手側にして構え、交互に上下させながら左右に離していく

特集 市政トピックス うだごから まちのわだい みんなで子育て 病院・あんしん お知らせ 掲示板 うだチャン

宇陀市まちづくり活動応援補助金

事業実施団体を募集!

問 政策推進課 (☎82・3910 / IP 88・9094)

NPO団体・ボランティア・市民グループなど、皆さんのまちづくり活動をバックアップします。

市民活動の活性化を目的に、まちづくり活動に必要な経費を補助します。

地域の個性を生かしたまちづくりの提案をお待ちしています。また、市制20周年を迎えるにあたり、20周年枠も募集します。20周年枠は新規事業に限り、期間は令和8年6月までの事業とします。

【応募期間】3月3日(月)～21日(金)

【対象】

- ① 市内で主に活動し、3人以上で構成されていること(うち半数以上が市内に在住、在勤または在学)
- ② 定款、規約、会則などに基づいて活動が行われていること
- ③ 政治活動や宗教活動、営利を目的としないこと

【対象事業】

- 市内において実施する新規または既存事業拡充となる事業
- ① 産業・ものづくりの振興
- ② 観光振興
- ③ 健康・福祉の推進、児童生徒の健全育成推進

保健福祉施設の機能集約

4月1日から

問 健康増進課

(☎82・33692 / IP 88・9087)

中央保健センターと医療介護あんしんセンター、権利擁護センターの機能を集約し、一体の施設として「うだ健康プラザ」が4月1日よりオープンします。

【施設名称】うだ健康プラザ (4月1日)

【所在地】榛原下井足49-1 榛原サンプラザ2階

【受付時間】午前9時～午後5時15分 (土・日・祝日・年末年始除く)

【電話番号】(代表) ☎82・2100 / FAX 82・2104

【部署名】

- 中央保健センター
- 医療介護あんしんセンター
- 権利擁護センター

※3月27日～28日の2日間は通信設備等の変更に伴い、医療介護あんしんセンター・権利擁護センターの電話がつかまりません。誠に不便をおかけしますが、健康増進課(☎82・33692)までお問い合わせください。

選考の流れ



広報うだ4月号

近畿市町村広報紙コンクール優良賞

広報うだ10月号・自主放送

令和7年全国広報コンクール県代表

毎日新聞社主催の第37回近畿市町村広報紙コンクールにおいて、「広報うだ4月号」が優良賞を受賞しました。また、令和7年全国広報コンクールに「広報うだ10月号・自主放送」が県代表として選ばれました。

4月号は、表紙写真を選ぶ際、一人でも多くのマロンランナーを掲載するため、表紙を初めて縦から横にしました。内容も多くの写真を掲載し、楽しく元気の雰囲気を感じたかったため、シテイマロン当日はカメラを片手に走り回りました。

10月号は、表裏面に104人の子どもの元気の写真を散りばめました。49年ぶりに建て替えた給食センターを特集し、調理業務等の一部を委託することに伴い、市民の不安を解消するため、新しい給食センター業務の1日や、生産者や栄養士さん、また小学校の子どもたち取材しました。

自主放送からは仲良く献立の内容が評価されました。出演してくれた子どもたちの笑顔や職員とのやりとりなどを撮影して、みんなで料理をする楽しさが伝わるよう編集しました。

家庭でも給食のことが話題に上がる



▲広報うだ10月号



▲広報うだ4月号



▶▶自主放送の内容



問 秘書広報情報課 (☎82・3912 / IP 88・9088)

ようという給食センター職員の想いも届けられたらと思います。

広報うだ・自主放送は市民の皆さんをはじめ、多くの方々のご協力をいただきながらできあがっています。

今後、ご協力をお願いします!



さんとぴあ榛原からのお知らせ

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、3月は冬が終わり、徐々に暖かくなっていく季節の変わり目です。暖かくなったと思つたら急に冷え込むなど、寒暖差が大きい時期でもあるので、服装や温度管理に気を付けましょう。

3月と言えば思い浮かぶのが、ひな祭り。古代中国の「上巳の節句」が起源とされています。今でこそ女子のお祭りに感じますが、元々は男女を問わず無病息災を祈る行事でした。草木が芽吹いてきて大地も命に満ちあふれてきます。元気な気持ちで過ごしていきましょうね。

ただ、この時期は花粉の飛散も活発になります。出かける際はマスク等で対策をして花粉を取り込まないように注意が必要です。

介護老人保健施設さんとぴあ榛原では、現在、部屋に余裕があります。入所について悩んでおられる方は、ぜひ相談してください。

デイケア入浴介助スタッフ募集!!

施設ではパート勤務を募集しています。午前中2～3時間の短時間勤務ですので、家事や育児との両立もバッチリ!特に資格も不問です。職場はスタッフ同士の仲も良く、利用者さんもお元気な方が多いので楽しく働けます。

詳しくは、さんとぴあ榛原まで。



問 さんとぴあ榛原 (☎85・2525 / IP 88・9065)